

平成21年度 長野県松本筑摩高等学校 定時制 午前部・午後部 学校評価表

定時制午前部・午後部教育目標		重点目標（中長期的目標）		成果と課題		
定時制の特色と単位制の趣旨とを活かして、様々な「学び直し」を願い、未来を拓こうとする生徒・保護者に添うとともに、地域に開かれた教育を行う。		定時制の特性を活かした単位制の充実を図るとともに、様々な実態把握に努めながら、生徒が個に応じた学力と社会的習慣とを身につけ、よりよい学校生活を送れるようにする。				
		今年度の重点目標		成果と課題	評価	改善策・向上策
		1. 生徒一人ひとりの個性の尊重と自主性の育成 2. 集団生活の中でルールを守る態度の育成 3. 基礎学力の定着と進路指導の充実 4. 定通独立校としての特性を意識した新しい学校像の模索				
領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
教 育 活 動	教育課程	開講科目の充実	生徒・保護者の願いを踏まえた講座の設定、および編成ができたか。			
	学習指導	基礎・基本の定着	可能な限りの教科・講座で習熟度別授業を展開するなどして、基礎学力の定着に向けた指導ができたか。 生徒による授業評価を活用し、授業改善ができたか。			
		個に即した指導	必要とする学力を個に即して着けようとする指導ができたか。			
	生徒指導	社会的習慣が身に付くような事前指導	生徒会と連携し、地域と関わる中で、生徒が社会観を育めたか。 生徒指導通信の発行など、啓蒙活動ができたか。			
		一人の生徒に複数の教師の目を向ける指導	年次会・職員相互で連携できたか。 情報を共有して指導できたか。			
		不登校生徒などへの対応（相談・カウンセリング）	情報を共有して支援できたか。 保護者との連携は強化できたか。 外部専門家などと連携できたか。			
	特別支援教育	特別支援学校との連携	支援を必要とする生徒の実態把握、保護者との共通理解、学習支援、進路相談等に活用できたか。			
		特別支援のハンドブックの活用	本校独自のハンドブックやシリーズ第3集を活用し、個別の支援計画を作成して支援ができたか。			
		職員研修の企画・実施	特別支援教育の知識・理解を深め、実践に役立つような研修を企画し、多くの職員の参加を得られたか。			
		コーディネーター養成研修	年5回の養成研修講座やフォローアップ講座に参加し、全職員へ報告できたか。			
	進路指導	望ましい職業観・勤労観の育成と進路意識の高揚	卒業までを見通した進路ガイダンスを充実させることができたか。 進路希望を実現させるための科目選択や履修指導ができたか。 面談、適性検査を通して職業選択できる指導ができたか。			
		進学指導の充実	定時制ハンドブックを使い、LHRや年次別ガイダンスを充実させ指導できたか。 進路指導室の各種情報誌・情報端末利用、説明会などで生徒ひとりひとりに行き届いた指導ができたか。			
就職指導の充実		総合学習やホームルームの進路学習の時間を有効に使用し、各自の進路に対する意識を高めることができたか。 就職希望者に対してマナー教育を含めた個別指導を徹底できたか。				
生徒会活動	くれき野祭の充実	本校に合った独自のスタイルを創り出すことができたか。				
	委員会活動の充実	多くの生徒が活動に加わり、またHRとの連携ができたか。				
	部活動の位置づけ	今後のあり方や規模について、長い見通しに立って共通認識を深めることができたか。				
地域との連携	公開授業・学校説明会の充実と社会人聴講生の受け入れ	公開授業をさらに推進するとともに、充実した学校説明会を行ったか。 地域や社会に開かれた学校作りを進めるとともに、社会人の学習機会拡大を企図した講座を設定し、生涯学習の場を提供できたか。				
	組織の運営	単位制の一層の充実	「内規集」および「定時制ハンドブック」を全面的に見直すとともに、有効な活用ができたか。			
校務分掌の検討		仕事の分担は適正だったか。意見を総括する中で、協力体制を確立できたか。				
研修	研修	カウンセリング研修	不登校生徒などへの共通理解を持つことができたか。 上記生徒へ適切に対応するための研修ができたか。			
		授業法の研修	学習指導に関する研修の必要性を共有し、機会を設定したか。 校内授業公開を実施し、学習指導の研究に活用できたか。			